



学校だより



2学期も折り返し地点です。

日中はまだまだ暑い日もありますが、朝晩は過ごしやすい季節になりました。学校では、10月末に控えた運動会の練習の真っ最中です。150周年の記念の年にふさわしい運動会にしようと、子どもたちは、新たな取組にチャレンジしています。どうぞ、楽しみにしててください。今月号では、まず「4月に実施された全国学力・学習状況調査の概要、岡山県学力・学習状況調査の概要について」、次に教育雑誌「初等教育資料」に掲載された本校の総合的な学習の時間の学びについて、ご紹介します。

【全国学力・学習状況調査、岡山県学力・学習状況調査の概要（公表）】

令和6年度の結果について、以下の通り、公表します。

全国学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語科では、「書く力」の正答率が全国・県の平均より高く、条件に合わせて自分の言葉で表現する力や漢字を書く力が付いてきている。 ○算数科では、「図形」の正答率が全国・県の平均より高く、図形の性質を理解し、正しく説明する力が身に付いている。 ○無回答率が低く、時間配分に気を付けながら粘り強く取り組んでいる。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲国語科では、読解力、特に長文読解や情報を整理し考える問題への対応力が課題となっている。 ▲算数科では、複数学年の学習内容を組み合わせ考える問題が苦手である。さらに、日常生活場面に生かす問題にも課題が残る。 	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業でのICT機器の活用頻度が全国・県よりも高い。 ○「授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」に肯定的な回答をした児童の割合が高く、学習に対して意欲的に取り組んでいる。 ○「地域や社会をよくするために何かしてみたい」に「当てはまる」と答えた児童の割合が全国・県よりも高く、地域貢献や社会参加への意識が高い。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲「授業の内容がよく分かりますか」に「当てはまる」と回答した児童の割合が、国語・算数ともに全国・県の平均をやや下回っている（昨年度も同じ傾向）。 ▲「自分の考えがうまく伝わるよう工夫して、発表をしていたか」に「当てはまると回答した児童の割合が全国・県平均をやや下回っている。

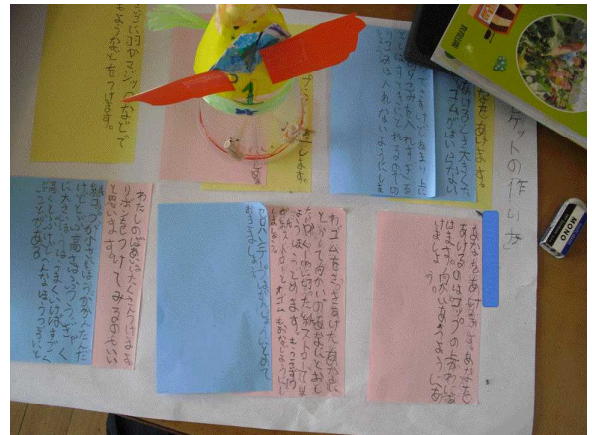
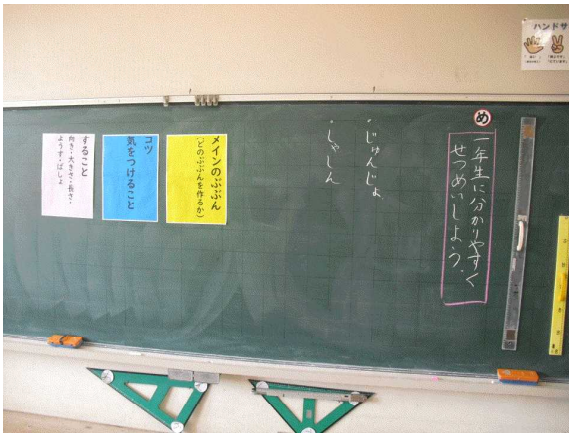
岡山県学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○どの学年も2教科ともに正答率が県平均を上回っている。特に5年生は国語科・算数科ともに大きく上回っている。 ○どの学年も、国語科「話すこと・聞くこと」の領域が県平均を大きく上回っている。 ○5年生は、漢字や読むことの正答率が8割を超えている。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲国語科では、条件に合わせて文章を書いたり、具体的な内容を書いたりすることに課題がある。 ▲算数科では、長文の問題の正答率が低く、内容が理解できていないためか、聞かれていることに明確に答えることができていない。 	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○平日、学校の授業以外に、1日当たり1時間以上勉強している児童の割合が県よりも高い。 ○「家で自分で計画を立てて勉強していますか」に「よくしている・ときどきしている」と回答した児童の割合が、県よりも高い。 ○携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことをきちんと守っていると回答した児童の割合が、県よりも高い。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲学習したことが自分の生活に役立っていると回答した児童の割合が、県よりも低い。 ▲話し合いを通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるかと回答した児童の割合が、県よりも低い。

この成果と課題を鑑みた、学校としての改善策につきましては、「[R6【鴨方西小学校】全国及び県テ分析](#)」を参照ください。

【授業改善取組 ～委ねる授業の実践～】

先述の改善策にも記載していますが、本校では今年度「主体的に学び、課題を解決する児童の育成～学びを委ねる授業の実践を通して～」のテーマで校内研究を進めています。

2年生の国語科の授業では、秋祭りに向けたおもちゃづくりを「1年生にわかりやすくせつめいしよう」というめあてを子どもたちがもち、説明文づくりに取り組んでいました。



この時間、教員は冒頭5分ほど、今日やるべきことを確認した後、授業のほとんどの時間を子どもに委ね、2年生はしっかりとゴールの説明文づくりに取り組みました。校内研究の手応えを感じ始めています。

【鴨西の「総合的な学習の時間」の学びが雑誌に掲載されました】



東洋館出版社の教育雑誌、「初等教育資料」の10月号に鴨西の取組が掲載されました。

「地域社会との連携を生かした教育活動の充実」の特集で、岡山大学の熊谷先生が、本校の総合的な学習の時間の学びを価値付けてくださいました。論説のタイトルは、「地域社会との連携を生かした教育課程の改善と授業づくり ～エージェントを 育むために～」です。

以下、熊谷先生の論説の抜粋です。

- 教育課程という本丸にも踏み込んだ地域学校協働活動を実践していくことが、「社会に開かれた教育課程」の実現に近づく道だとも考えられる。
 - 鴨方西小学校では、総合的な学習の時間を活用して、地域の歴史や産業について学び、マルシェで地域の魅力を発信する「鴨西マルシェ」を実践している。
- 鴨西マルシェも子供たちの一方的な要求による実現ではなく、コミュニティ・スクールによる熟議の会で子供たちと大人たちが一緒に話し合い、企画を練って学びを通して実践を行っている。つまり、子供たちに周囲の仲間や地域の大人たちと一緒に創り出す努力を経験させることで責任の意識を育んでいる。

これからの変化の激しい社会を生き抜く子供たちが、「主体性」を身につけることができるよう、引き続き、学校教育活動を進めていきたいと考えています。熊谷先生、本校の活動を価値付けてくださり、誠にありがとうございました。